

市場環境変化に対応した地域食品製造業の戦略

研究概要

経済のグローバル化と落花生加工業の経営戦略



食環境科学部 食環境科学科

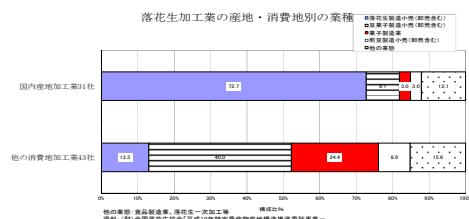
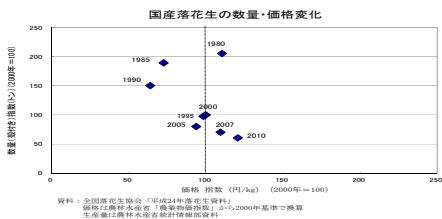
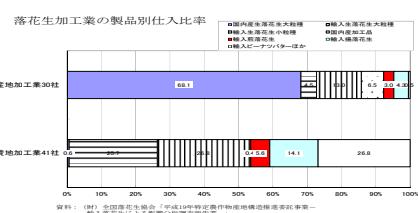
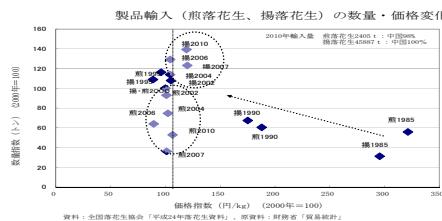
野島 直人 教授 Naoto Nojima

研究キーワード: 食品製造業 地域食品産業 食料システムの経済 フードシステム

URL: <http://researchmap.jp/g0000210064/>

研究シーズの内容

本研究室では、地域特産品として産業集積が認められる一方、経済のグローバル化の進展等の環境変化の影響を受けてきた食品加工業を取り上げ、その商品特性を活かした多様で活力ある地域食品産業の発展について考察しています。その一つである落花生加工業は内外環境の変化によって、消費地の加工業、産地の加工業とも減少し少数の大企業と多数の中小企業が併存する産業構造が変化しています。大手メーカーは、生産の海外分業または海外原料を輸入し国内加工する体制を構築し、主要な大手小売業とのサプライチェーンを充実させ国内市場シェアを高めています。中小メーカーでは、小規模経営層を中心に減少する中で、中核的な中小企業に経営・技術面で活力ある事例がみられています。他方、産地の加工業（主産地千葉のほか茨城の筑波等、神奈川秦野・二宮の加工小売業）は、産地品種を限定し素材に近い煎落花生製品による高品質価格によって差別化しています。この産地加工小売業では、地域ブランド化することでニッチ市場を守備する生き残り戦略が見られますが、市場を持続させるためには、地域内の原料生産の持続、高品質化を目指し生産者との連携強化が必要と考えられます。



活用例・産業界へのアピールポイント

食品産業における市場環境分析および市場変化への対応

特記事項(関連する発表論文・特許名称・出願番号等)

「成熟市場における地域食品産業の企業戦略」現代社会研究 2012 年など